

ふるさと歴史散歩 258

～松前史談会レポート～

浮嶋神社を訪ねる II

浮嶋神社は、『日本三大実録』の貞観9(867)年2月5日の条に「授伊豫国(中略)正六位上浮嶋神從五位下」とある国史現在社である。主祭神は、愛媛県神社庁のWebサイトによれば、可美葦牙彦男尊、大山積命、三神御面。

可美葦牙彦男尊は、『古事記』では天地開闢の際に現れた「別天神」5柱のうちの1柱で、弥生文化時代からここに祭られていたとされる。

大山積命は、7世紀後半に越智氏の中興の祖といわれる越智益躬によって合祀されたとされる。

三神御面は、前号で述べた御面雨乞いの神事の主役を務めた雨乞い御面である。推古天皇21(613)年に前出の越智益躬が大三島大明神を祈願し、舞楽を奉納したとき、海上に小舟が現れ、調べてみたところ、舟中には人なく、3個の古面が置かれていた。益躬は竜神が作ったものであるとして喜び、崇め、この3面の神面を宇城郡名久米部主楯明宮(現在の徳威三嶋宮の前身。南梅本にあった

とされる。)に奉納した。その後、兵火を避けて河之内山中に遷し、さらに雨瀧三嶋宮に遷し、その後同三嶋宮の宮司が亡くなった後、その妻が浮嶋神社の神主に再嫁する際に神面を浮嶋神社に携えたという。その後浮嶋神社の神主が神主職を長男に譲り、南梅本にあった三嶋宮を野田村に遷して新たに社家を興した際、一代に限るという条件で神面が野田村三嶋宮に遷座された。しかし、その神主の死後も神面が浮嶋神社に返還されなかったため、野田・牛淵両三嶋宮の間に御面争議が起こり、享保17(1732)年5月寺社奉行の命により、両宮に隔年遷座するようになったと伝えられる。現在も毎年12月に浮嶋神社と徳威三嶋宮との間で御面渡御祭が行われている。

今年は神面が浮嶋神社に祭られているため、今回は、浮嶋神社を訪ねることにしたものである。次号に続く。(徳香 記)



三神御面



11月の歴史散歩は実施しません。

松前史談会(鷺野) ☎ 080-5666-5439



【開館時間】 9時～22時 【休館日】 12月28日～1月4日
◆東公民館 神崎 210 ☎ 984-1159 FAX 984-1457
◆西公民館 北黒田 966-2 ☎ 984-5313 FAX 984-5313
◆北公民館 昌農内 456-1 ☎ 984-7529 FAX 984-9398

東公民館

毎月順番に活動内容をお届け!

親子アート教室



1



2

1. ハロウィンのお面を持って記念撮影
2. 教室の様子

7月18日から、新田高校美術講師の遠藤貢治先生をお迎えし、未就学児を対象にした親子アート教室が始まりました。

初回は「絵の具であそぼう」と題し、色遊びをしたり、うちわを作ったりしました。第2回は自分たちで作った色紙をちぎってカラフルなあおむしを、第3回はハロウィンのお面を作りました。

アートを通じて親子の会話が弾み、子どもの自由な発想や個性を発見する機会になりました。今後は「ねんどであそぼう」やクリスマスリース作りを行う予定です。

完成した作品は、次回の教室まで1階ロビーに展示しています。お立ち寄りの際はぜひご覧ください。

ふるさと ライブラリー

◆開館時間 9時30分～19時
◆問い合わせ ☎ 985-4140 FAX 985-1386
◆11月の休館 30日(日)
ホームページはこちら▶

英語おはなし会
21日(土) 11時～
文化センター
2階
ふるさと学習室

◆新着本 紹介

毎週新しい本を入荷し、随時、新着本コーナーに展示しています。貸し出し状況、予約状況はお問い合わせください。

▶クジラに落ちた男
ダニエル・クラウス・著
佐田千織・訳
東京創元社



卓越したダイバーだった父が海で自ら命を絶った。父の遺骨を求めて海に潜るジェイだが、マッコウクジラに呑み込まれてしまう。酸素残量は1時間。生還の鍵は…。2026年公開映画の原作小説

▶折れた岬
有栖川有栖・著
日経 BP 日本経済新聞出版



ミステリ畑で名を馳せた編集者が、リタイアして移り住んだロジジは、覆面作家がある日忽然と消えた家。謎を解くのは自分の使命か。本格ミステリの第一人者による、誰も死なないミステリ小説

▶未だ本能寺にあり
今村翔吾・著
幻冬舎



天正十年、本能寺の変。しかし信長の遺骸は見つからずにいた。一度見聞きした物事を忘れない異能を持つ駒井八右衛門は、秀吉からの密命で信長の行方を追う。関係者が語る「あの日」の真実とは…

▶図説中国後宮大全
島崎晋・著
原書房



中華宮廷ドラマも、後宮ファンタジーも、10倍面白くなる! 始皇帝から清末までの中国後宮の歴史を、写真や図版と共に紹介。制度、しきたりや衣食住など、後宮の実像がわかる1冊



走るのが苦手でも、ジム通いが続かなくても大丈夫。歩くのは足の仕事ではなく実は「お腹」の仕事。足の専門医がたどり着いた、いつもの歩行が「最高の運動」に変わる方法を紹介する

▶走るより運動になる「歩き方」
久道勝也・著
サンマーク出版



とべ動物園で誕生したマントヒヒの赤ちゃんイブナは、生まれつき目が見えません。飼育員さんはどうやって育てていくか悩み、群れの中で育てることを決めたのでした

▶めのみえないマントヒヒ イブナ
は、きょうもげんきです!
楠草子・文
本田亮・絵
童心社